



®環境省

エコアクション21

認証番号 0011201

エコアクション21 2023年度 環境経営レポート

(活動期間：2022年10月01日～2023年09月30日)



協業組合 徳島印刷センター

発行日：2023年11月30日

改定日：

環境経営方針

基本理念

私たちは、情報関連産業の先進的企業群として、事業活動のすべてにわたり、納期・価格・品質において、安心しておまかせ頂けるよう取り組み、お客様に満足頂けることを目指します。

このため、効率化や品質管理の徹底を図るとともに、省エネルギー・省資源等の環境に配慮した対応を進め、コスト削減と併せて地球環境保全に貢献するなど、環境経営を推進し、これを継続的に改善します。

行動指針

1. 私たちは、自主的・積極的に、環境への取組を推進します。
このため、以下のことについて重点的に取り組みます。
また、これらについて、環境目標を設定し、年度ごとの見直しを通じ継続的に改善します。
 - 1) 二酸化炭素排出量の削減（総エネルギー使用量の削減）
 - 2) 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - 3) 水使用量の削減
 - 4) 省エネルギー・省資源
 - 5) 化学物質の使用量削減
 - 6) 環境負荷の低減に配慮した製品作り
 - 7) 地域社会の環境保全への貢献
2. 私たちは、環境に関連して適用される法令、及び、その他の同意する要求事項を遵守します。
3. 顧客と従業員の満足度向上に努めます。
4. 環境経営方針を全ての従業員に周知します。

2021年10月1日

協業組合 徳島印刷センター

代表理事 多田 哲也

1. 取組の対象組織・活動

(1) 名称及び代表者名：協業組合 徳島印刷センター
代表理事：多田 哲也

(2) 所在地
本 社：徳島県徳島市問屋町165番地
東 店：徳島県徳島市問屋町156番地

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
環境管理責任者：プレス課 工場長 野田 隆幸
担当者：総務課 山崎 典子
TEL：088-625-0135
FAX：088-622-0734

(4) 事業内容：商業印刷物であるチラシ、パンフレット、ポスター、封筒、はがき、冊子等の企画、印刷及び製本

(5) 事業の規模

売上高：273百万円（2023年度：2022年10月～2023年9月）

	本 社	東 店
従 業 員 (人)	16	14
延べ床面積 (㎡)	632.54	362.63

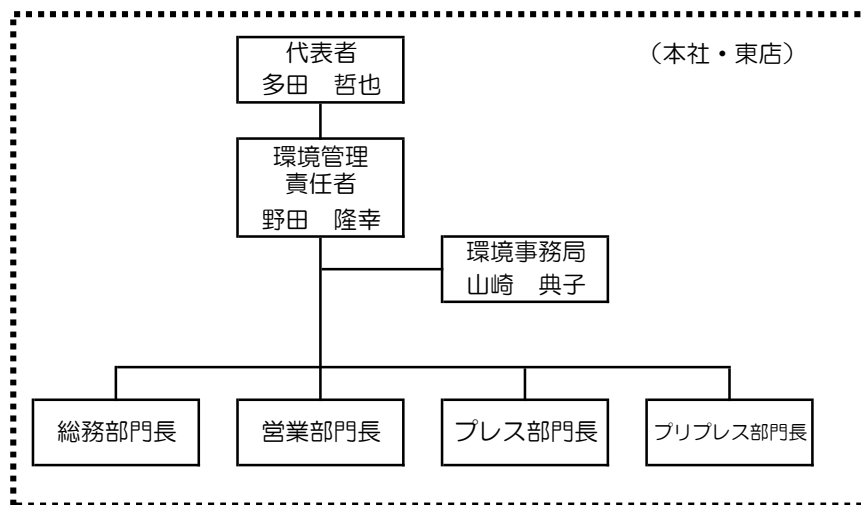
2. 認証・登録の対象組織・活動

認証・登録事業社名：協業組合 徳島印刷センター
対象事業所：本社
東店
事業活動範囲：印刷業（チラシ等の企画、印刷及び製本）

3. 環境に関する苦情等の受付窓口

担当者：プレス課 工場長 野田 隆幸

実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者（理事長）	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 環境管理責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 環境目標、環境活動計画を承認 代表者による全体の評価と見直しを実施 環境経営レポートの承認 経営における課題とチャンスの明確化
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境目標、環境活動計画を確認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者の補佐、EA21の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境目標、環境活動計画原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規等取りまとめ表の作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	<ul style="list-style-type: none"> 自部門における環境経営システムの実施 自部門における環境経営方針の周知 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 特定された項目の手順書作成及び運用管理 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 試行、訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

更新日：2023.11.1

改訂日：

作成者：野田 隆幸

【 環境経営目標（事務所、現場） 】
2021年度～2023年度 環境経営目標

環境経営目標の項目		(基準値) 2019年度 実績	2021年度 目標	2022年度 目標	2023年度 目標
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂ /年)の削減		排出量 91,009	基準比 1%減 90,099	基準比 2%減 89,189	基準比 3%減 88,279
取組目標	電力使用量 ^{※1} (kwh/年) の削減	使用量 166,996	基準比 1%減 165,326	基準比 2%減 163,656	基準比 3%減 161,986
	燃料使用量・ガソリン (ℓ/年) の削減	使用量 9,644	基準比 1%減 9,548	基準比 2%減 9,451	基準比 3%減 9,355
廃棄物排出量 ^{※2} (t/年) の削減		排出量 4.64	基準比 0.5%減 4.62	基準比 1%減 4.6	基準比 1.5%減 4.57
取組目標	産業廃棄物・廃プラ (t/年) の削減	排出量 2.40	基準比 0.5%減 2.39	基準比 1%減 2.38	基準比 1.5%減 2.36
	産業廃棄物・廃別カ (t/年) の削減	排出量 2.24	基準比 0.5%減 2.23	基準比 1%減 2.22	基準比 1.5%減 2.21
	紙くず・リサイクルの推進	リサイクル率 100%	100%	100%	100%
	アルミ・リサイクルの推進	リサイクル率 100%	100%	100%	100%
水使用量 (m ³ /年) の削減		使用量 331	基準比 0.5%減 329	基準比 1%減 328	基準比 1.5%減 326
環境負荷の低減に配慮した製品づくり 【NL 規制 ^{※3} に適合したインキ (使用率 ^{※4})】		—	95%	96%	97%
変更前：NL 規制 ^{※3} に適合したインキ (種類)		(28)	(30)	(31)	(32)
【製品歩留りの向上/良品率の向上 (歩留り率) ^{※5} 】		—	(目標設定検討)	64%	65%
化学物質使用量の削減 【削減に向けた使用量把握のための会議開催】		会議開催 年 4 回	年 4 回	年 4 回	年 4 回
地域社会の環境保全への貢献 【社会貢献活動 (清掃活動) の実施】		清掃活動実施年 18 回	年 18 回	年 18 回	年 18 回

※1 二酸化炭素排出係数 0.411 (kg-CO₂/kwh) (2019年度 四国電力)

※2 廃プラ、廃アルカリ、紙くず、アルミのうち、廃棄物として排出される量
(紙くず、アルミについて、有価物として引き取られる場合は除く。)

※3 NL 規制：印刷インキに関する自主規制
(人の健康・安全や環境への影響に配慮した有害性の少ない印刷インキの使用を求める)

※4 従来、種類とし、その数を目標値としていたが、取組状況をよりの確に示すため、
使用率【NLインキ重量kg/使用インキ重量kg (%)】に変更。()内数値は変更前の目標値。

※5 2022年度からの新規目標。

【 環境経営目標（事務所、現場） 】
2024年度～2026年度 環境経営目標

環境経営目標の項目		(基準値) 2022年度 実績	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
二酸化炭素排出量(kg-CO2/年)の削減		排出量 88,463	基準比1%減 87,578	基準比2%減 86,694	基準比3%減 85,809
取組目標	電力使用量※1 (kwh/年) の削減	使用量 157,814	基準比0.5%減 157,025	基準比1%減 156,236	基準比1.5%減 155,447
	燃料使用量・ガソリン (ℓ/年) の削減	使用量 7,792	基準比0.5%減 7,753	基準比1%減 7,714	基準比1.5%減 7,675
廃棄物排出量※2 (t/年) の削減※6		排出量 3.7	3.7 (維持管理)	3.7 (維持管理)	3.7 (維持管理)
取組目標	産業廃棄物・廃プラ (t/年) の削減	排出量 2	2 (維持管理)	2 (維持管理)	2 (維持管理)
	産業廃棄物・廃アルカリ (t/年) の削減	排出量 1.7	1.7 (維持管理)	1.7 (維持管理)	1.7 (維持管理)
	紙くず・リサイクルの推進	リサイクル率 100%	100%	100%	100%
	アルミ・リサイクルの推進	リサイクル率 100%	100%	100%	100%
水使用量 (m3/年) の削減※6		使用量 305	305 (維持管理)	305 (維持管理)	305 (維持管理)
環境負荷の低減に配慮した製品づくり 【NL規制※3に適合したインキ (使用率※4)】		98% 247kg/252kg (NLインキ重量 /使用インキ重量)	- (使用率把握)	- (使用率把握)	- (使用率把握)
【製品歩留りの向上/良品率の向上 (歩留り率) ※5】		67% (49.7t/73.3t)	68%	69%	70%
化学物質使用量の削減 【削減に向けた使用量把握のための会議開催】		会議開催 年4回	年4回	年4回	年4回
地域社会の環境保全への貢献 【社会貢献活動 (清掃活動) の実施】		清掃活動実施年 18回	年18回	年18回	年18回

※1 二酸化炭素排出係数 0.446 (kg-CO2/kwh) (2022年度 四国電力)

※2 廃プラ、廃アルカリ、紙くず、アルミのうち、廃棄物として排出される量
(紙くず、アルミについて、有価物として引き取られる場合は除く。)

※3 NL規制：印刷インキに関する自主規制
(人の健康・安全や環境への影響に配慮した有害性の少ない印刷インキの使用を求める)

※4 従来、種類とし、その数を目標値としていたが、取組状況をよりの確に示すため、
使用率【NLインキ重量kg/使用インキ重量kg (%)】に変更。

※5 2022年度からの新規目標。

※6 廃棄物、水使用量は大幅な削減が見込めないため、2024年より目標は設定せず維持管理とするが、
実績値の記録と把握は続ける。

【 実績及び評価 】

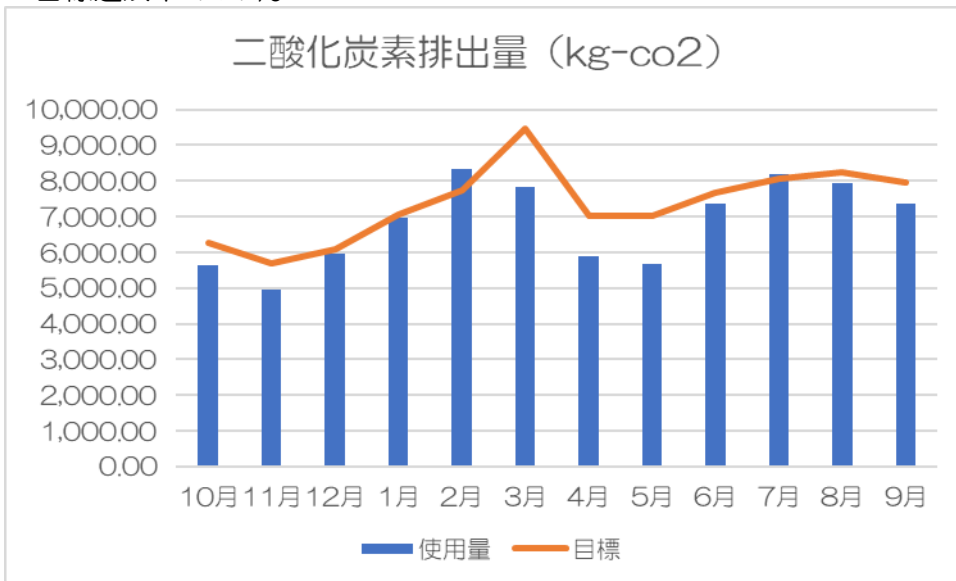
2023年度 (2022.10月~2023.9月)

環境経営目標の項目		2023年度 実績値	目標 達成率	判定	評価等
取組目標	二酸化炭素排出量(kg-CO2/年)の削減	基準比 9.8%減 (排出量 82,099 kg-CO2)	107%	○	月別で目標達成できない月もあったが、四半期では目標達成できた。
	電力使用量*1 (kwh/年) の削減	基準比 5.9%減 (使用量 157,154kWh)	103%	-	
	燃料使用量・ガソリン (ℓ/年) の削減	基準比 21.7%減 (使用量 7,547L)	123%	-	
取組目標	廃棄物排出量*2 (t/年) の削減	基準比 1.9%減 (排出量 4.55t)	100%	○	廃アルカリの目標が達成できなかった。 (回収時期で数量が増えた) 紙くずは再生できない色紙が出たため目標が達成できなかった。
	産業廃棄物・廃プラ (t/年) の削減	基準比 16.7%減 (排出量 2t)	118%	-	
	産業廃棄物・廃アルカリ (t/年) の削減	基準比 13.8%増 (排出量 2.55t)	86%	-	
	紙くず・リサイクルの推進	リサイクル率 99.4% (発生量 48.53t)	99.4%	-	
	アルミ・リサイクルの推進	リサイクル率 100% (発生量 2.64t)	100%	-	
水使用量 (m3/年) の削減		基準比 11.48%減 (使用量 293m3)	111%	○	達成できた。
環境負荷の低減に配慮した製品作り 【NL 規制*3に適合したインキの使用拡大】		NL インキ使用率：97% 228kg/235kg (NL インキ重量/使用インキ重量)	100%	○	達成できた。
【製品歩留りの向上/良品率の向上】		歩留り率：74% 59.8t/81.2t	113%	○	
化学物質使用量の削減 【削減に向けた使用量把握のための会議開催】		会議開催 年4回	100%	○	開催できた。
地域社会の環境保全への貢献 【社会貢献活動(清掃活動)の実施】		清掃活動実施年18回	100%	○	密を避けて開催できた。

【判定】 ○：100%以上(達成) △：95%以上(概ね達成) ×：95%未満(未達成)

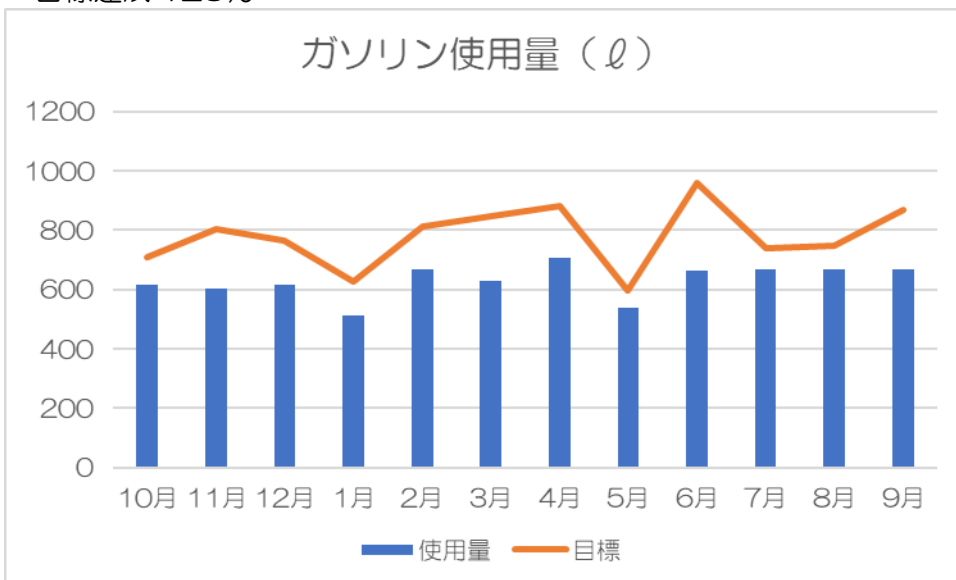
【2023年度 月別二酸化炭素排出量（本社・東店）】

目標達成率 107%



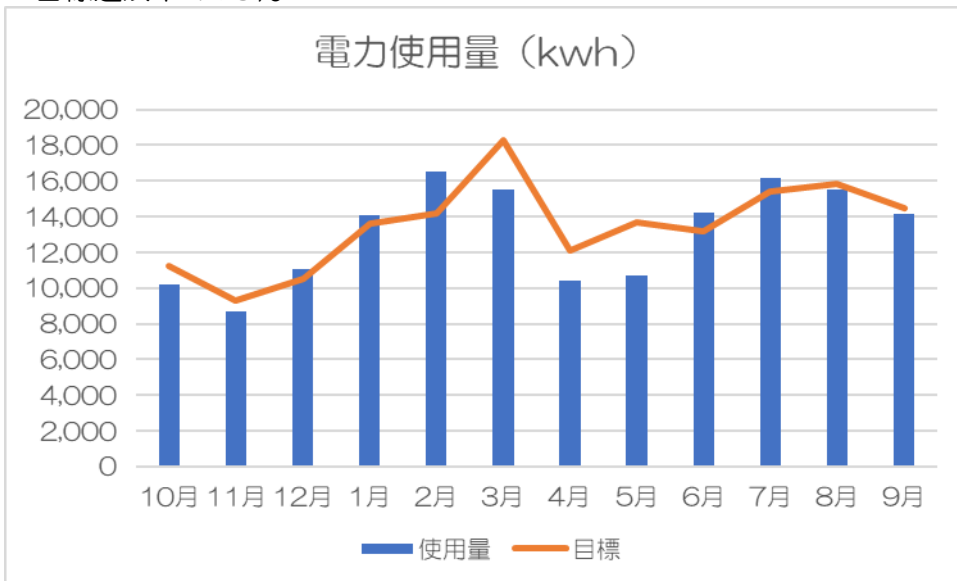
【2023年度 月別ガソリン使用量】

目標達成 123%

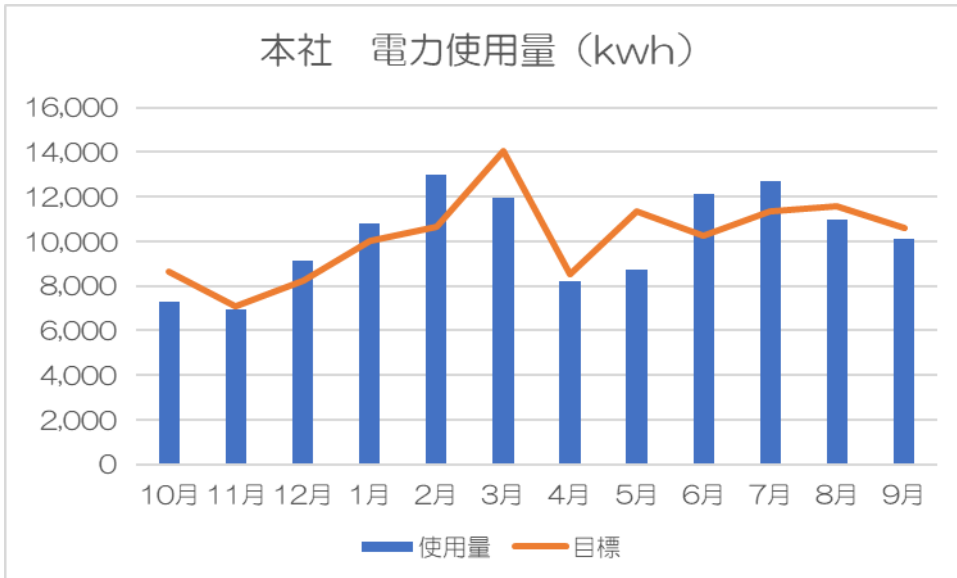


【2023年度 月別電力使用量（本社・東店）】

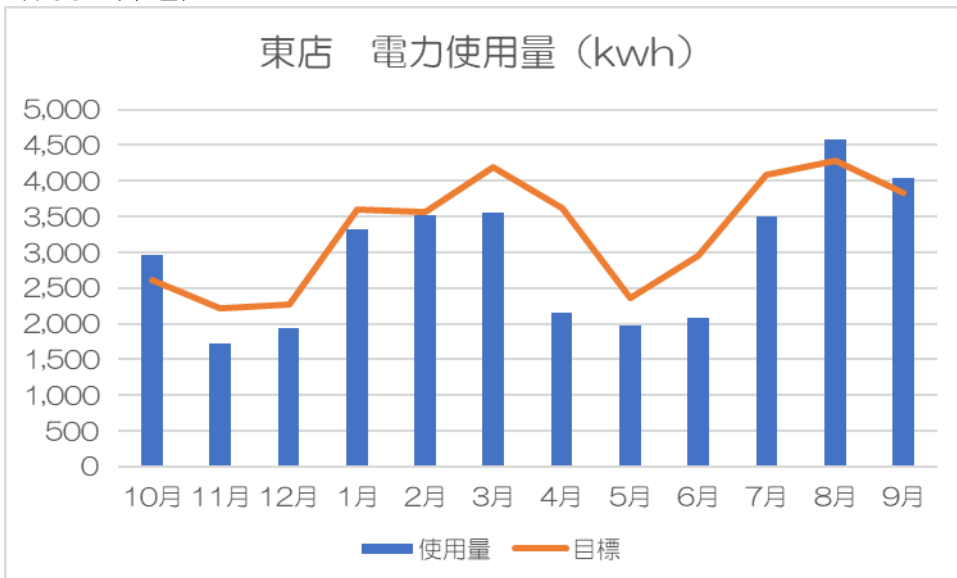
目標達成率 103%



部門別（本社）

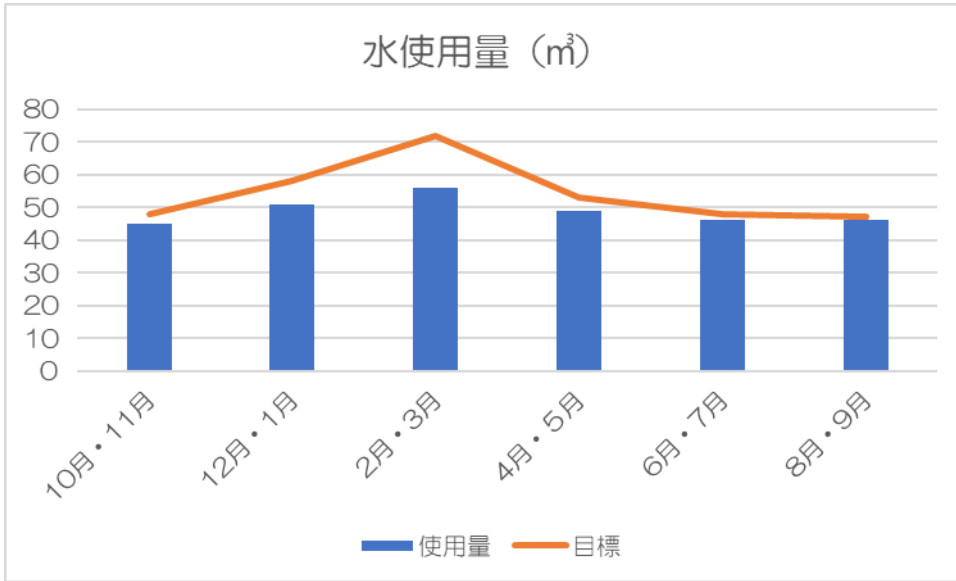


部門別（東店）

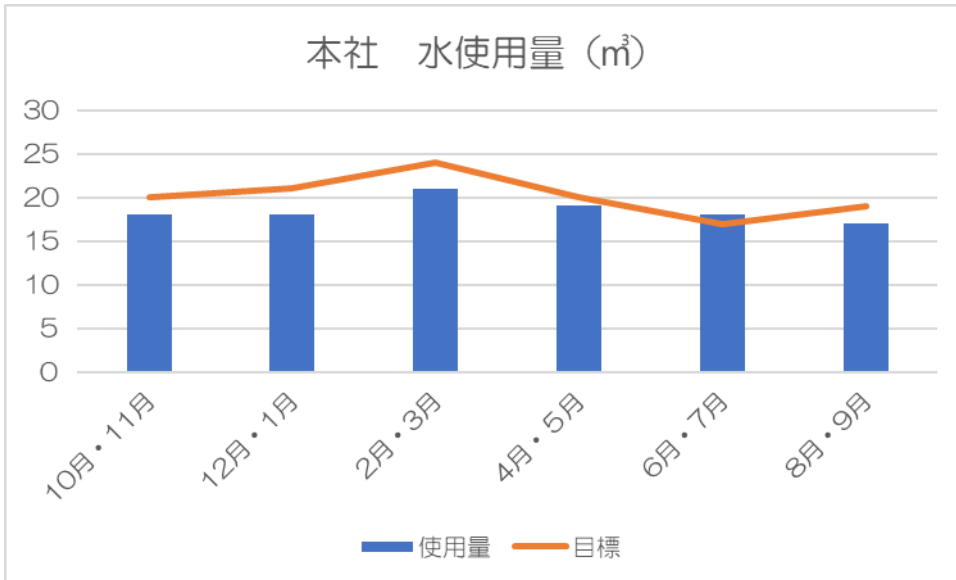


【2023 年度 月別水使用量（本社・東店）】

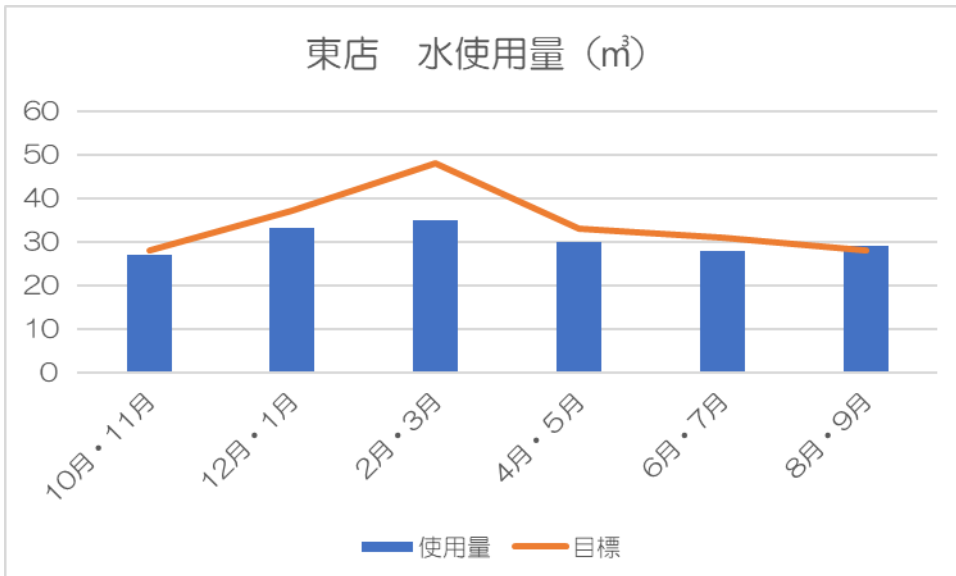
目標達成率 111%



部門別（本社）



部門別（東店）



【 2020 年～2022 年度 実績 】

環境経営目標の項目		2020 年度 実績値	2021 年度 実績値	2022 年度 実績値
二酸化炭素排出量(kg-CO2/年)の削減		103,557kg-CO2	83,818 kg-CO2	82,939 kg-CO2
取組 目標	電力使用量※ ¹ (kwh/年) の削減	157,607 kwh	157,384 kwh	157,814 kwh
	燃料使用量・ガソリン (ℓ/年) の削減	8,767 L	8,247 L	7,792 L
廃棄物排出量※ ² (t/年) の削減		3.65 t	3.3 t	3.7 t
取組 目標	産業廃棄物・廃プラ (t/年) の削減	2.0 t	1.6 t	2 t
	産業廃棄物・廃珪加 (t/年) の削減	1.65 t	1.7 t	1.7 t
	紙くず・リサイクルの推進	リサイクル率 100% 50.54 t	リサイクル率 100% 50.38 t	リサイクル率 100% 47.08 t
	アルミ・リサイクルの推進	リサイクル率 100% 2.41 t	リサイクル率 100% 2.26 t	リサイクル率 100% 2.53 t
水使用量 (m3/年) の削減		336 m3	318m3	305 m ³
環境負荷の低減に配慮した製品作り				
【NL 規制※ ³ に適合したインキ (使用率※ ⁴)】		-	96%	98%
変更前：NL 規制※ ³ に適合したインキ (種類)		(29)	-	-
【製品歩留りの向上/良品率の向上】※ ⁵		-	(目標設定検討実施)	67%
化学物質使用量の削減 【削減に向けた使用量把握のための会議開催】		会議開催 年 4 回	会議開催 年 4 回	会議開催 年 4 回
地域社会の環境保全への貢献 【社会貢献活動 (清掃活動) の実施】		清掃活動実施年 18 回	清掃活動実施年 18 回	清掃活動実施年 18 回

※1 二酸化炭素排出係数 0.411 (kg-CO2/kwh) (2019 年度 四国電力)

※2 廃プラ、廃アルカリ、紙くず、アルミのうち、廃棄物として排出される量
(紙くず、アルミについて、有価物として引き取られる場合は除く。)

※3 NL 規制：印刷インキに関する自主規制

(人の健康・安全や環境への影響に配慮した有害性の少ない印刷インキの使用を求める)

※4 従来、種類とし、その数を目標値としていたが、取組状況をよりの確に示すため、
使用率【NL インキ重量kg/使用インキ重量kg (%)】に変更。

※5 2022 年度からの新規目標。

【2023年度 環境活動計画及び計画の取組結果・評価等】

(活動期間：2022年10月1日～2023年9月30日)

(事務所・工場)

	取組項目	取組結果等			取組結果の評価・今後の取組等
		責任者	日程	実施状況	
二酸化炭素排出の削減	二酸化炭素排出量(基準比3%削減)			目標達成率107%	環境経営目標が達成できた。
	電力使用量(基準比3%削減)			目標達成率103%	目標が達成できた。
	1. 夏季エアコン26℃(開始時期を極力遅らす)	各部門長	7~9月	○	評価 ○ 取組項目が実施できた。 生産性を向上することで電力使用量の削減を図る。 省エネ設備への切替。
	2. 冬季エアコン20℃	各部門長	12~3月	○	
	3. 年一回以上エアコン清掃	各部門長	5月、11月	○	
	4. 効率的な仕事をする	各部門長	通年	○	
	5. 扇風機との併用	各部門長	7~9月	○	
	6. 使っていないコンセントを抜く	各部門長	通年	○	
	7. エアコンの購入(古いエアコンの更新/東店)	環境管理責任者	9月	×	
	燃料使用量(基準比3%削減)			目標達成率123%	目標が達成できた。
	1. エコドライブの励行(10カ条)	営業部門長	通年	○	評価 ○ 効率的なルート選定により目標が達成できた。 次年度も低燃費車の購入検討を続ける。
	2. 適正な車両整備(空気圧等)	営業部門長	通年	○	
3. 効率的な業務の徹底(段取り)	営業部門長	通年	○		
4. 車両以上の車間距離の徹底	営業部門長	通年	○		
5. 適切なルート選定	営業部門長	通年	○		
6. ハイブリッド車および低燃費車の購入	営業部門長	4月	×		
廃棄物排出量の削減	一般廃棄物(リサイクルの推進)			目標達成率99.4%	目標が達成できなかった。
	1. 極力用紙からPDFに変更	各部門長	通年	○	評価 × 色紙が再生できなくなったことで、再生率100%の目標が達成できなかった。 次年度もできるかぎりヤレ紙の削減に取り組む。
	2. プレビュー徹底	各部門長	通年	○	
	3. 情報公開文書は裏紙を使用する	各部門長	通年	○	
	4. メール&ファクスにて通達	各部門長	通年	○	
	5. ヤレ紙の削減	各部門長	通年	○	
	アルミリサイクルの推進(リサイクル率100%)			目標達成率100%	目標が達成できた。
	1. 適正な分別	プレス部門担当者	通年	○	評価 ○ よくてきた。
	産業廃棄物の削減(基準比1.5%削減)			(産廃)(混載) 目標達成率 100% 再利用率	目標が達成できた。
	1. 材料発注時に正確な数値で拾い出しをする	各部門長	通年	○	評価 ○ シールの仕事が多くなり、産廃ゴミが多く出るようになった。 次年度は有価物の選別を徹底する。
2. 手戻りを極力抑える	各部門長	通年	○		
3. 支障なき箇所に再利用を行う	各部門長	通年	○		
4. 有価物の選別	各部門長	通年	○		
5. 廃棄物の分別を徹底・再利用に努める	各部門長	通年	○		
水使用量の削減				目標達成率111%	環境経営目標が達成できた。
水使用量(基準比1.5%削減)					評価 ○ 節水に取り組むことで目標達成はできたが、 これ以上の削減に限界を感じている。
1. 節水バルブを80%に調整する	環境管理責任者	通年	○		
2. 節水型便器の情報を収集する	環境管理責任者	通年	○		
製品への環境配慮				目標達成率100%	環境経営目標が達成できた。
NL規制に適合したインキの使用拡大			(把握) 3月、6月、 9月、12月	○	評価 ○ 何年も現状維持のため、経過観察とする。
1. NL規制に適合したインキの使用率の把握	プレス部門担当者	通年	○		
2. NL規制に適合したインキの使用	プレス部門担当者	通年	○		
製品歩留りの向上/良品率の向上				目標達成率113%	環境経営目標が達成できた。
1. 歩留まり率の把握	各部門長	(把握) 3月、6月、 9月、12月	○	評価 ○ 取組目標がよく実施できた。 次年度はミス5件以下、予備紙は10枚削減する。 また、効率のよい機械の導入を検討する。	
2. 歩留まりの向上	各部門長	通年	○		
(1) ミスを年間7件以下	各部門長	通年	○		
(2) 予備紙を減らす	各部門長	通年	○		
(3) 機械の導入の検討・実施	各部門長	11月、12月	○		
化学物質使用量の把握				目標達成率100%	環境経営目標が達成できた。
1. MSDSの把握	プレス部門	通年	○	評価 ○ 年4回の会議を開催し、業者からの製品情報を 踏まえ、化学物質の少ない製品の選定・試行・導入 ができた。次年度以降も、同様に化学物質の少ない 製品の選定等に努める。	
2. IPA5%チェック	プレス部門	通年	○		
3. 年4回の会議	プレス部門長	2月、5月 8月、11月	○		
会社周辺の清掃及び社会貢献活動				目標達成率100%	環境経営目標が達成できた。
1. 会社周辺の1ヶ月に1回の清掃 年12回	環境管理責任者	毎月	○	評価 ○ 担当責任者の従業員への啓発活動が十分で あったことから、各取組項目が円滑に実施でき 目標の達成につながった。 次年度以降も継続していく。	
2. まちピカ事業 徳島市年2回	環境管理責任者	6月、12月	○		
3. 東町内会清掃 年4回 合計年18回	環境管理責任者	3月、6月、 9月、12月	○		

【2024年度 環境活動計画】

(活動期間：2023年10月1日～2024年9月30日)

(事務所・工場)

	取組項目	責任者	日程	留意点	
一 酸 化 炭 素 排 出 の 削 減	二酸化炭素排出量(基準比1%削減)				
	電力使用量(基準比0.5%削減) 1. 夏季エアコン26℃ (開始時期を極力遅らす) 2. 冬季エアコン20℃ 3. 年一回以上エアコン清掃 4. 効率的な仕事をする 5. 扇風機との併用 6. 使っていないコンセントを抜く 7. エアコンの購入 (古いエアコンの更新/東店) 8. 照明器具取替 (蛍光灯からLED照明への切替)	各部門長 各部門長 各部門長 各部門長 各部門長 各部門長 環境管理責任者 環境管理責任者	7～9月 12～3月 5月、11月 通年 7～9月 通年 10月 1月	節電意識をもつ 省エネ設備へ切替	
	燃料使用量(基準比0.5%削減) 1. エコドライブの励行 (10カ条) 2. 適正な車両整備 (空気圧等) 3. 効率的な業務の徹底(段取り) 4. 四車両以上の車間距離の徹底 5. 適切なルート選定 6. ハイブリッド車および低燃費車の購入	営業部門長 営業部門長 営業部門長 営業部門長 営業部門長 営業部門長	通年 通年 通年 通年 通年 4月	走行計画を立てる	
	廃 棄 物 排 出 量 の 削 減	リサイクル紙の推進 (リサイクル率100%) 1. 極力用紙からPDFに変更 2. プレビュー徹底 3. 情報公開文書は裏紙を使用する 4. メール&ファクスにて通達 5. ヤレ紙の削減	各部門長 各部門長 各部門長 各部門長 各部門長	通年 通年 通年 通年 通年	印刷・製本での ヤレ紙の1%削減
		アルミリサイクルの推進 (リサイクル率100%) 1. 適正な分別	プレス部門担当者	通年	極力アルミ版を使用する
		産業廃棄物 (廃プラ・廃アルカリ) の削減(維持管理) 1. 材料発注時に正確な数値で拾い出しをする 2. 手戻りを極力抑える 3. 支障なき箇所に再利用を行う 4. 有価物の選別 5. 廃棄物の分別を徹底・再利用に努める	各部門長 各部門長 各部門長 各部門長 各部門長	通年 通年 通年 通年 通年	廃棄物の分別を徹底し 再利用に努める
水使用量の削減 水使用量(維持管理) 1. 節水バルブを80%に調整する 2. 節水型便器の情報を収集する		環境管理責任者 環境管理責任者	通年 通年	節水を意識する	
製品への環境配慮 NL規制に適合したインキの使用拡大 (1)NL規制に適合したインキの使用率の把握 (2)NL規制に適合したインキの使用		プレス部門担当者 プレス部門担当者	3月、6月、9月、12月 通年	情報収集に努める	
製品歩留りの向上/良品率の向上 1.歩留まり率の把握 2.歩留まり率の向上 (1)ミスを年間5件以下 (2)予備紙を10枚減らす (3)機械の導入の検討・実施	各部門長 各部門長 各部門長 各部門長	3月、6月、9月、12月 通年 通年 通年 2月	無駄を省く		
化学物質使用量の把握 1. MSDSの把握 2. IPA5%チェック 3. 年4回の会議	プレス部門 プレス部門 プレス部門長	通年 通年 2月、5月、8月、11月	化学物質使用量の削減		
会社周辺の清掃及び社会貢献活動 1. 会社周辺の1ヶ月に1回の清掃 年12回 2. まちピカ事業 徳島市年2回 3. 東町内会清掃 年4回 合計年18回	環境管理責任者 環境管理責任者 環境管理責任者	毎月 6月、12月 3月、6月、9月、12月	全員参加		

【代表者による全体の評価と見直し】

2023 年は、新型コロナウイルス感染症の 5 類への移行後、食料品などの物価上昇の中にあつて個人消費の回復も見られ、政府としても「成長と分配の好循環」を目指す方針を示し、雇用・賃金の増加を背景に個人消費の増加基調の維持、企業の前向きな設備投資の増加を促し、緩やかな景気回復基調が見られた年でした。

一方、世界の状況は、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化、米中対立や中東パレスチナ自治区ガザにおける戦闘など国家間対立などが大きく影響しました。

日本においても記録的な猛暑を記録するなど世界規模での異常気象、エネルギー・食糧問題など世界的な課題に対する果敢な対応と国際協調を一層求めたいものです。

印刷業界におきましてもデジタル化の波、ペーパーレス化により、印刷業界の市場が減少傾向にあるのは避けられない事実です。数多くの課題を現状抱えているのも否定できません。それでも、コロナによる新たな需要拡大やデジタル技術の有効活用など、印刷業界は大きな可能性も秘めています。

私たち印刷センターにおいては、今年ホームページのリニューアル (CMS 対応) を図り、100 年印刷、デジタルブック作成、AI による写真・イラストの作成。来年には 3 次元 CG を組み合わせた新たな取り組み、パッケージ印刷、動画、YouTube と大きな可能性を秘めた取り組みを進めています。かっこよく、そして楽しくそれぞれの事業を進めていきましょう。

2023 年度、各項目での目標達成率は、二酸化炭素排出量の削減 107%、電力使用量の削減 103%、燃料使用量・ガソリン使用量の削減 123%、廃棄物排出量の削減 100% (再資源化率 100%)、水使用量の削減 111%、NL 規制に適合したインキの使用率 100%、歩留まり率 103%、化学物質使用量の把握 100%、地域社会の環境保全への貢献 100%、とすべての項目で削減を達成しました。まずはこの実績を大きく評価しましょう。感謝します。大変お疲れ様でした。ありがとうございます。

今回の実績を踏まえ、10 年目を迎える 2024 年度も環境経営目標項目の追加及び重点項目への集中、そのほか創意工夫することによる環境負荷の低減はまだ可能であると考えています。さらなる目標達成にはソフト面等新たな取組や地道な努力が必要となります。ハードによる環境に配慮した大きな効果として本社、東店照明の LED 化、東店のエアコン新規更新 2 台により、相当量の電力量削減を見込んでおり、環境整備はもとより、効率アップによるエネルギーと資源の削減が期待されます。

一方、再生エネルギーを善、化石燃料を悪とした二元論的な考えや、高すぎる目標設定、原油価格高騰、材料費の高騰の中では、中小企業が出来ることは限られてしまいます。私たちに出来ることは何なのか、疑問や問い仮説を持ちながら計画そして実行に移していかなければなりません。エコアクション 21 の活動計画の実践をとおり、自分たちの行動を検証しつつ、新たな仕組みや工夫を積極的に見出し、更に組合と共に社会が発展する努力をして 2024 年度も引き続き社員一同で環境活動に取り組んでいきましょう。

[環境経営方針] 変更の必要性： 有 無

現時点での見直しの必要はない。

[環境経営目標、環境活動計画] 変更の必要性： 有 無

現時点での見直しの必要はない。

[実施体制] 変更の必要性： 有 無

【環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟の有無】

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである。

※この3ヶ月該当しなかった場合は該当なしと記載

環境法規制等の名称	要求事項	遵守状況の確認	判定
環境基本法	公害の防止と自然環境の適正保全	遵守	○
グリーン購入法	グリーン購入の促進	遵守	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガスの排出削減等	遵守	○
徳島県気候変動対策推進条例	温室効果ガスの排出抑制等	遵守	○
省エネ法	節電	遵守	○
循環型社会形成推進基本法	原材料を適正に使用と処分	遵守	○
廃棄物処理法	再生利用と適正処理	遵守	○
	マニフェストの管理	遵守	○
資源有効利用促進法	再生部品を利用努力	遵守	○
家電リサイクル法	長期間使用と適正なりサイクル	遵守	○
自動車リサイクル法	廃車のリサイクルを図る	遵守	○
浄化槽法	水質保全	遵守	○
騒音規制法	騒音の規制	遵守	○
徳島県生活環境保全条例	騒音の規制の遵守	遵守	○
振動規制法	振動の規制	遵守	○
悪臭防止法	規制基準の遵守	遵守	○
消防法	火災予防	遵守	○
徳島市火災予防条例		遵守	○
労働安全衛生法	労働災害防止の対策を推進する	遵守	○
有機溶剤中毒予防規則	有機溶剤から労働者の健康を守る	遵守	○
フロン排出抑制法	オゾン層の保護、フロンの回収義務	遵守	○
小型家電リサイクル法	再資源化を促進する	遵守	○

環境関連法規制等の遵守状況の定期評価の結果、環境法規制等の逸脱はありませんでした。また、関係当局より違反等の指摘は過去3年間ありませんでした。

(協業組合) 徳島印刷センター

エコアクション21担当 野田

〒770-8056

徳島市問屋町165 (繊維卸団地内)

電話088-625-0135



交通手段・交通経路

徳島駅～二軒屋駅下車
(2駅目)

徒歩15分
タクシー5分

徳島阿波おどり空港バス (徳島駅) ～ (二軒屋駅)
(2駅目) 下車

徒歩15分
タクシー5分